

目次

地理

はじめに

第一部 自然環境と歴史的地域の形成

第一章 自然環境と考古空間

第一節 自然環境とその諸条件

地形とその特色

概況(六) 山地・丘陵地(七) 河川と自然堤防(九) 沖積面と段丘面(三)

表層地質とボーリング調査の成果

基盤岩の位置(七) 堆積物の検討(七) 沖積層と洪積層(三) N値(二)

気候

気候の区分とその決定因子(三) 樞原市の気候(三) 過去の気象記録と気象災害(九)

第二節 自然環境と考古空間

遺跡分布と考古空間

考古空間とその活用

旧石器・縄文時代の遺跡分布…………… 壹

旧石器時代(三三) 縄文時代(三六)

弥生時代遺跡の展開と地域集団の形成…………… 四一

弥生時代の始まりと奈良盆地(四二) 弥生時代遺跡の分布と遺跡群(四三) 地域社会の

形成と遺跡の状態(四六)

古墳時代の集落と墳墓…………… 四九

古墳時代の奈良盆地(四九) 集落遺跡の分布とその構造(五九) 古墳の分布と立地環境(五九)

遺跡の形成と土地利用史…………… 五七

遺跡の形成と遺構面…………… 五七

遺構面とその種類(五七) 遺構面の相互比較(五九) 堆積層序と土地利用の変遷(六三)

旧河道跡の調査…………… 六四

自然流路の調査(六五) 人工流路の調査(六七)

第二章 歴史的地域の形成…………… 七三

第一節 古代における行政区画の成立…………… 七三

アガタとミヤケ…………… 七三

十市県(七五) 高市県(七五) 久米県(八〇)

郡と郷…………… 八一

第二節 古代における交通路の変遷と地域プラン…………… 八五

交通路の配置と規模…………… 八五

古代の道路(六五) 古代の幅員(九三)

藤原京と国府・郡家

藤原京のプラン(九六) 国府(一〇〇) 郡家(一〇七)

条里制

条里制の概要(一〇〇) 条里制の復原(一一三)

第三節 近世の所領構成と特徴

近世大和国における所領構成の特徴と変遷

橿原市域における近世の所領構成の特徴と変化

大名領の構成と変化

高取藩領の変遷(一一〇) 郡山藩領の変遷(一一五) その他の藩領(一二〇)

旗本領の構成と変化

幕領の変化と意味

橿原市における近世所領支配の類型

第四節 所領支配と村落

村高の変化

貢租の意味と指標

「取米率」の一般的傾向

幕領における取米

徴税法の転換とその結果(一二四) 預所支配の問題(一二六) 葛本村の取米変化(一三〇)

九六

一〇六

一一四

一二四

一二七

一二〇

一一三

一一四

一一七

一一六

一一六

一二一

一二三

一二四

| | | | |
|-----------------------|---------------|-----------|----|
| 有毛検見取法による生産力の把握(一五) | 葛本村の生産力と免(一五) | 三九 | |
| 藩領の取米 | | 三九 | |
| 旗本領の取米 | | 一四 | |
| 生産力と取米の対応 | | 一六 | |
| 近世の政治的領域と近代の政治的領域 | | 一七 | |
| 第五節 村落の形成と村のまとめり | | 一七 | |
| はじめに | | 一七 | |
| 村落の形成とその特性 | | 一七 | |
| 村落構造の特性—主に文禄検地帳の分析から— | | 一七 | |
| 村落間における地域秩序の形成 | | 一八 | |
| 水利秩序の形成(一八) | 村社組織(一九) | 一八 | |
| 第六節 商業集落の形成 | | 一九 | |
| 集落機能の分類 | | 一九 | |
| 今井と八木 | | 二〇 | |
| 今井(二〇) | 八木(二七) | 今井と八木(三〇) | 二〇 |
| 第二部 高度経済成長期以降の発展と再編成 | | 三五 | |
| 第一章 人口増加とその地域構成 | | 三五 | |

第一節 大阪大都市圏内での橿原市……………二五

第二節 人口増加と人口構造……………三三

自然増加と社会的増減……………三三

社会的増減の転出入先……………三四

年齢構成の変化……………三〇

町別人口の変化……………三三

第三節 居住地域の分化……………三九

集合住宅と既存集落……………三九

転入者の居住地の住み分け……………四〇

第四節 人口の日常的流出入……………四四

通勤・通学移動……………四四

就業別人口……………四五

第二章 宅地化と都市的土地利用の展開……………五二

第一節 宅地化の進展……………五五

第二節 市街化区域内の農地の転用……………六一

「線引き」の実施と宅地開発……………六一

市街化区域の農業環境……………六五

市街化区域内の農地転用……………二六六

露天駐車場、資材置場、貸駐車場、ガレージ(二六九) 倉庫、作業場、農業作業場、

植木育成地(二七〇) 賃貸アパート、共同住宅、貸マンション、貸家住宅(二七〇)

店舗、食堂、事務所、賃貸店舗、事業所(含付住宅)(二七〇) 自己住宅、一般住宅、

分家住宅、庭先用地(二七〇) 建売住宅、分譲住宅、分譲地、マンション(二七一)

工業用地(二七二) 公共的施設、道、公園(二七二) その他(二七二)

農地転用の変化……………二七三

農地転用の位置と土地利用……………二七六

第三節 非農業的土地利用の拡大……………二八一

第三章 都市機能の整備……………二八六

第一節 交通網の整備……………二八八

はじめに……………二八八

鉄道交通……………二八八

バス交通……………二九〇

自動車交通……………二九三

第二節 中心地と中心地システムの形成……………二九六

中心地としての発展……………二九六

勢力圏の拡大……………三〇〇

市内の中心地……………三六

第四章 産業基盤の変化……………三三

第一節 商業の発展……………三三

その規模……………三三

昭和三十五年との比較……………三四

商店街の動きと特性……………三六

第二節 工業……………三六

工業の動向……………三六

各工業の現状とその特色……………三四

靴下製造業の再編成……………三七

第三節 農業……………三五

昭和三十年代の農家と農業……………三五

農業・農家の推移……………三七

農家数の変化……………三七

専業農家と兼業農家の推移……………三九

地区別農家数の変化……………三一

農地の推移と農家の対応……………三六

宮農の特徴……………三九

近郊農業としての施設園芸農業…………… 三五四

施設園芸農業…………… 三五四

野菜と施設園芸農業の動向…………… 三五四

花卉栽培…………… 三七七

花卉栽培の当市農業に占める位置(三七七) 成立と発展(三七八) 地区別の特徴(三七八)

常盤の場合(三六〇) 葛本の場合(三六一) 栽培体系と流通(三六二)

第四節 農業水利とその変化…………… 三六七

はじめに…………… 三六七

灌漑水利の方式…………… 三六七

ため池の所有形態…………… 三六一

池 郷…………… 三六四

河川灌漑のシステム…………… 三六四

水利慣行…………… 三六六

灌漑水利の安定化…………… 三六七

倉橋ため池の築造と用水…………… 三六九

吉野川分水の通水…………… 三六九

都市化と農業用水…………… 三九〇

各 說 四〇一

第一章 神 社 四〇三

一、耳成地区 四〇六

- 十市御巢坐神社(四〇六)
- 葛本神社(四〇七)
- 春日神社(四〇三)
- 竹田神社(四〇四)
- 坂門神社(四〇七)
- 天満神社(四一〇)
- 市杵島神社(四〇三)
- 山之坊山口神社(四〇四)
- 耳成山口神社(四〇六)
- 樋口神社(四一〇)
- 市杵島神社(四〇三)
- 八坂神社(四〇四)
- 稻荷神社(四〇六)
- 須賀神社(四〇六)
- 新堂神社(四〇三)

二、畝傍地区 四〇九

- 高市御巢神社(四〇九)
- 春日神社(四一〇)
- 春日神社(四一〇)
- 春日神社(四一〇)
- 八幡神社(四一〇)
- 生国魂神社(四一〇)
- 大久保神社(四一〇)
- 鷺栖神社(四一〇)
- 春日神社(四一〇)
- 木殿神社(四一〇)
- 敵島神社(四一〇)
- 大歳神社(四一〇)
- 花園神社(四一〇)
- 春日神社(四一〇)
- 素戔鳴命神社(四一〇)
- 八咫鳥神社(四一〇)
- 春日神社(四一〇)
- 牟佐坐神社(四一〇)
- 八幡神社(四一〇)
- 春日神社(四一〇)
- 鳥坂神社(四一〇)
- 春日神社(四一〇)
- 春日神社(四一〇)
- 八幡神社(四一〇)
- 輕樹村坐神社(四一〇)
- 榎原神宮(四一〇)
- 久米御巢神社(四一〇)
- 東大谷日女命神社(四一〇)
- 池田神社(四一〇)
- 安寧天皇神社(四一〇)
- 八幡神社(四一〇)
- 馬立伊勢部田中神社(四一〇)

三、鳴公地区 四一三

- 春日神社(四一三)
- 八幡神社(四一五)
- 春日神社(四一七)

四、八木地区 四一九

- 春日神社(四一九)
- 恵比須神社(四二三)
- 春日神社(四二四)

五、今井地区……………五二

春日神社(五二) 八幡神社(五二) 入鹿神社(五二)

六、真菅地区……………五三

畝火山口神社(五三) 八幡神社(五三) 天神社(五三) 春日神社(五三) 宗我坐宗我都比

古神社(五三) 天高市神社(五三) 人麿神社(五三) 春日神社(五三) 春日神社(五三)

春日神社(五三) 春日神社(五三) 磐余神社(五三) 岩神社(五三) 子部神社(五三)

小子部神社(五三) 八幡神社(五三) 屋就神命神社(五三) 八阪神社(五三)

七、金橋地区……………五三

八幡神社(五三) 杵築神社(五三) 春日神社(五三) 八幡神社(五三) 金橋神社(五三)

河俣神社(五三) 木葉神社(五三) 春日神社(五三) 天太玉命神社(五三)

八、新沢地区……………五六

稲代坐神社(五六) 三神社(五六) 威徳天神神社(五六) 三十八社神社(五六) 八王子神

社(五六)

九、香久山地区……………六〇

御厨子神社(六〇) 八幡神社(六〇) 春日神社(六〇) 春日神社(六〇) 国常立神社(六〇)

天岩戸神社(六〇) 天香山神社(六〇) 畝尾都多本神社(六〇) 畝尾坐健土安神社(六〇)

三柱神社(六〇) 春日神社(六〇) 植田神社(六〇)

第二章 寺 院……………六四

一、耳成地区……………六四

二、畝傍地区……………六〇〇
本願寺(六〇四) 常願寺(六〇四) 正覺寺(六〇五) 安樂寺(六〇四) 淨教寺(六〇四) 蓮台寺(六〇九)
教円寺(六〇五) 常光寺(六〇五) 憶念寺(六〇五) 融宣寺(六〇五) 大日寺(六〇五) 淨樂寺(六〇五)
観音堂(六〇四) 淨福寺(六〇四) 阿弥陀寺(六〇五) 大行寺(六〇五) 西教寺(六〇六) 淨正寺
(六〇七) 善福寺(六〇七) 日宝寺(六〇八) 薬師堂(六〇九) 普賢寺(六〇九) 地蔵堂(六〇九)

三、鴨公地区……………六〇三
教宗寺(六〇〇) 妙観寺(六〇一) 東通寺(六〇二) 称詮寺(六〇二) 願専寺(六〇三) 実相寺(六〇三)
国源寺(六〇三) 西向寺(六〇四) 正恩寺(六〇五) 光明寺(六〇五) 本薬師寺(六〇六) 信光寺(六〇七)
法満寺(六〇六) 大仙寺(六〇六) 本明寺(六〇九) 法輪寺(六〇七) 妙法結社(六〇七) 正楽寺(六〇七)
顕福寺(六〇七) 天上院(六〇七) 日本山妙法寺(六〇七) 阿弥陀寺(六〇七) 称名寺(六〇七)
福栄寺(六〇四) 徳応寺(六〇五) 弘誓寺(六〇六) 薬伝寺(六〇七) 高松寺(六〇七) 法林寺(六〇八)
久米寺(六〇八) 明善寺(六〇八) 大師堂(六〇八) 称讚寺(六〇八)

四、八木地区……………六〇八
是信寺(六〇三) 養国寺(六〇三) 正光寺(六〇四) 正明寺(六〇四) 善行寺(六〇五) 観音寺(六〇六)
常願寺(六〇六) 常楽寺(六〇七) 報恩寺(六〇七) 地蔵寺(六〇八)

五、今井地区……………六〇九
大願寺(六〇八) 観音寺(六〇八) 延命院(六〇九) 国分寺(六〇九) 西福寺(六〇九) 金台寺(六一三)
八木大師教会(六〇四) 護法寺(六〇九) 正福寺(六一〇) 円立寺(六一〇) 明教寺(六一〇) 諦聴寺
(六一六)

西光寺(六一七) 蓮妙寺(六一九) 称念寺(六一九) 常福寺(六一九) 順明寺(七〇一) 正蓮寺(七〇二)
普賢寺(七〇三)

六、真菅地区……………七〇四

- 慈明寺(七〇四) 願興寺(七〇四) 称名院(七〇五) 光專寺(七〇六) 光岩院(七〇七) 東樂寺(七〇八)
- 大信寺(七〇八) 地黄観音堂(七〇九) 安樂寺(七一〇) 専念寺(七一〇) 大日堂(七一一) 春道観音堂(七一二)
- 願成寺(七一一) 淨行寺(七一二) 大日堂(七一二) 正福寺(七一三) 善光寺堂(七一四)
- 最勝寺(七一五) 瑞花院(七一五) 雲分寺(七一七) 親縁寺(七一七)

七、金橋地区……………七〇六

- 光明寺(七〇六) 庵寺(七〇六) 淨栄寺(七〇六) 大日堂(七〇九) 金剛寺(七〇九) 正覚寺(七一〇)
- 薬師堂(七一〇) 地藏堂(七一〇) 徳心寺(七一一) 西応寺(七一一) 淨念寺(七一一) 法光寺(七一二)
- 観音堂(七一二) 正満寺(七一二)

八、新沢地区……………七〇四

- 淨満寺(七〇四) 円福寺(七〇五) 仏覚寺(七〇六) 重願寺(七〇六) 長法寺(七〇六) 淨国寺(七〇九)
- 念仏寺(七〇九) 淨念寺(七〇九) 淨宗寺(七一一) 阿弥陀寺(七一一) 和田寺(七一一) 正蓮寺(七一二)
- 観福寺(七一二) 円教寺(七一二) 薬師堂(七一二)

九、香久山地区……………七〇六

- 本福寺(七〇六) 妙法寺(七〇七) 淨福寺(七〇七) 興善寺(七〇七) 日向寺(七〇九) 法然寺(七〇九)
- 保寿院(七〇九) 蓮生寺(七〇九) 念仏寺(七〇九) 興福寺(七〇九)

第三章 仏教美術……………七〇四

一、薬師寺金堂薬師三尊と白鳳彫刻……………七〇四

二、平安時代の彫刻……………七〇六

正覺寺地藏菩薩立像(七四〇) 久米寺如来立像(七五〇) 正覺寺天部立像(七五〇) 和田寺薬師如来立像(七五〇) 本願寺地藏菩薩立像(七五〇) 国分寺十一面觀音立像(七五〇) 觀音堂觀音菩薩立像(七五〇) 薬師堂阿弥陀如来立像(七五〇) 地藏寺地藏菩薩立像(七五〇) 東坊城庵寺阿弥陀如来立像(七五〇) 薬師堂阿弥陀如来立像(七五〇) 興善寺十一面觀音立像(七五〇) 阿弥陀寺十一面觀音立像(七五〇) 延命寺天部立像(七五〇) 正覺寺大日如来坐像(七五〇) 延命寺十一面觀音立像(七五〇) 久米寺十一面觀音立像(七五〇) 妙法寺阿弥陀如来坐像(七六〇) 正福寺阿弥陀如来坐像(七六〇) 長法寺薬師如来坐像(七六〇) 阿弥陀寺阿弥陀如来坐像(七六〇) 円福寺阿弥陀如来立像(七六〇) 阿弥陀寺阿弥陀如来立像(七六〇) 安楽寺薬師如来坐像(七六〇) 地藏堂阿弥陀如来坐像(七六〇) 阿弥陀寺阿弥陀如来坐像(七六〇) 長法寺阿弥陀如来坐像(七六〇) 融宣寺地藏菩薩立像(七六〇) 春道觀音堂天王形立像(七六〇) 正蓮寺二天王立像(七六〇) 觀音寺增長天立像(七六〇) 円福寺阿弥陀如来坐像(七七〇) 安楽寺阿弥陀如来立像(七七〇)

三、中世の彫刻

〔鎌倉時代〕

正樂寺阿弥陀如来坐像(七三三) 正蓮寺大日如来坐像(七三三) 国源寺聖徳太子立像(七五五)
東楽寺聖徳太子立像(七七七) 個人蔵阿弥陀如来立像(七七七)

〔南北朝・室町時代〕

法然寺阿弥陀如来坐像(七七〇) 久米寺善無畏三蔵坐像(七七九) 長法寺不動明王、降三世明王立像(七八〇) 妙法寺大日如来坐像(七八〇) 興善寺文殊菩薩及侍者像(七八〇) 普賢寺聖徳太子立像(七八五) 慈明寺十一面觀音立像(七八七) 日向寺大日如来坐像(七八七) 觀音寺役行者二鬼像(七八七) 長法寺大日如来坐像(七九〇) 竹田神社大日如来坐像(七九〇)
国源寺不空羅索觀音立像(七九三) 薬師堂薬師如来坐像(七九四)

四、江戸時代の彫刻 七七

 観音寺三宝荒神坐像(七七)

五、絵画・工芸品 七九

 橿原市在銘作品一覽(七九)

第四章 動物 八五

 哺乳類(八五) 鳥類(八五) 魚類(八六) 動物覚え書き(八三)

第五章 植物 八三

一、大和三山の植生 八三

 敢傍山(八三) 耳成山(八四) 香久山(八六)

二、橿原神宮の森 八六

 境内林の概略(八六) 境内林造成の歴史(八七) 植栽後三五年目の状況(八三) 調査の

 結果(八三) 二つのタイプの森林(八四)

第六章 民俗 八六

第一節 宮座 八六

 一町(八六) 南浦町(八六) 土橋町(八七) 豊田町(八四) 飯高町(八四) 四条町(八四)

 観音寺町(八四) 光陽町(八四)

第二節 まつりと行事 八七

ノガミ(野神)祭り……………八四〇

上品寺―シヤカシヤカ祭り(八四〇) 地黄―スミツケ祭り(八四〇) 小綱―ノグチさん

(八五〇) 北妙法寺―ノガミさん(八五〇) 五条野―ツナカケさん(八五〇) 五井―ツナク

ミ(八五〇) 四条―ツナクミ(八五〇) 慈明寺―ノガミさん(八五〇) 見瀬―ツナカケ(八五〇)

東坊城―ノガミさん(八五〇) 古川―ノガミさん(八五〇) 忌部―ノガミさん(八五〇)

行 事……………八五七

レンゾ(八五七) 久米会式(八五七) ススモの荒神祭(八五七) お峯デンソソ(八五七) 大汝参

り(八五七) ホウランヤ(八五七) 愛宕祭(八五七)

第三節 絵 馬……………八五九

百人一首絵馬……………八六〇

牟佐坐神社の百人一首絵馬(八七〇) 見瀬八幡宮の百人一首絵馬(八七五)

和算絵馬……………八七七

耳成山口神社の算額(八七〇)

第七章 道 標……………八八二

道標の分布……………八八三

道標の建立年代……………八八三

道標に記された指向地名……………八八四

道標の形態……………八八五

市内の現存道標……………八八六

特徴ある道標…………… 六九

「八木・今井」「神武天皇陵・橿原神宮」を指向する道標(六九)

第八章 地名——古代地名…………… 七〇

はじめに…………… 七〇

郷名…………… 七〇

川辺郷—竹田川辺(七〇) 飯富郷—飯高・多・子部・雲分(七〇) 雲梯郷(七〇)

遊部郷(七〇) 久米郷(七一)

職掌地名…………… 七一

枝組・妻田組・土田組(七一) 忌部(七一) 下八釣(七一) 定使(七一) 八木・別所・

山之坊(七一)

好字地名…………… 七一

吉田・吉殿(七一) 和田(七一) 宮所・香子山・磐余(七一) 豊田(七一)

改字(転訛)地名…………… 七二

小網・今井(七二) 縄手(七二) 新口・新賀(七二) 五条野(七二) 十市(七二) 舟付山

(舟築山)(七二)

各説…………… 七二

大和三山(七二) 大和国府—輕古・香山正倉・小治田宮(七二) 十三塚(中曾司)(七二)

古代条里地名対比表…………… 七三

十市郡(七三) 高市郡(七三) 十市西(七三) 高市西(七三)

解説…………… 七三

| | |
|-------------|-----|
| 一、十市郡東条里の復原 | 九六九 |
| 二、高市郡東条里の復原 | 九七〇 |
| 三、十市郡西条里の復原 | 九七一 |
| 四、高市郡西条里の復原 | 九七二 |
| 五、広瀬郡条里の復原 | 九七三 |
| 六、葛下郡条里の復原 | 九七三 |

第九章 歴代公職者……………九七三

| | | | | | | | | | |
|------------------|-----------|------------|--------------|--------------------|------------------|-------------|--------------------|----------------|----------------------|
| 歴代市長(九六三) | 歴代助役(九六三) | 歴代収入役(九六三) | 歴代市議會議員(九六四) | 歴代教育 委員会委員(九七〇) | 歴代選挙管理委員会委員(九七〇) | 歴代監査委員(九七〇) | 歴代公平委 員会委員(九七四) | 歴代農業委員会委員(九七五) | 歴代固定資産評価審査委員会委員(九八四) |
| 付 略 年 表 | …………… | …………… | …………… | …………… | …………… | …………… | …………… | …………… | …………… |
| | | | | | | | | | 九八六 |